

本田雄一氏のご功績

平成15年4月から平成21年3月までの6年間、島根大学の学長、平成21年4月から平成29年3月までの8年間、公立大学法人島根県立大学理事長並びに同法人が設置する島根県立大学及び島根県立大学短期大学部の学長の職にあった。この間、理事長あるいは学長として、卓越したリーダーシップを発揮し大学運営にあたりるとともに、いずれの大学においても『大学憲章』を定め、大学の使命及び姿勢を内外に示した。

島根大学では、法科大学院の創設、医学系研究科医科学専攻修士課程の設置など、大学の発展・充実に貢献した。

島根県立大学では、看護師に求められる役割の高度化や専門化に対応するため、平成24年度、出雲キャンパスに看護学部を設置するとともに、看護学部の完成年度に併せ大学院看護学研究科を設置した。

また、松江キャンパスでは、より高度な人材を求める地域のニーズに応えるため、短期大学部3学科全ての4年制化を進めている。

島根県立大学憲章の「地域のニーズに応え、地域と協働し、地域に信頼される大学」の実現に向け、文部科学省の「地(知)の拠点整備事業(大学COC(Center of Community)事業)」などを通じて、人口減少問題など島根県が直面しているさまざまな課題の解決に向け、自治体などと共同研究を行うなど、大学の地域貢献機能を高める取り組みを進めた。

学長就任以降、地域の再生や活性化に貢献する人材育成に尽力し、公立大学ではトップクラスの高い就職率を誇り、島根県の名を高めた。

さらに、島根県総合開発審議会会長や財団法人しまね文化振興財団の役員を務めるなど、県勢の発展に大きく貢献した。